

広津よ永遠に シリーズ その6

カミツレ (カモミール)

2011.5.27

広津を代表する花です。キク科の一年草でハーブのカモミールの和名。加密列と書くそうです。何故広津で？ 広津出身で東京で事業に成功した人（相互印刷工芸KK）が故郷でカミツレ研究所と八寿恵荘（カミツレの湯入浴、宿泊設備）、7000坪の広大なカミツレ栽培農場を運営しています。さらに多くの農家にカミツレの契約栽培を委託しています。過疎地にとっては貴重な観光施設であり、収入源であり、働く場所になっています。

カミツレ研究所の看板



カミツレ研究所



カミツレは全草芳香があり、花を乾燥したものを煎じて飲むと発汗、解熱に効く。又口内炎、咽頭炎の消炎薬として用いられています。芳香、保温、浴用にも用いられています。秋に植えて5月下旬～6月頃花を採取します。厳寒の地で冬を越すのですから凄い植物だと私は冬場感心して眺めていました。古くから健胃剤、婦人病、安眠の薬として重宝がられたとの事。現在は花から精油を抽出してアロマテラピーに用いられているとか。

現地の案内の看板

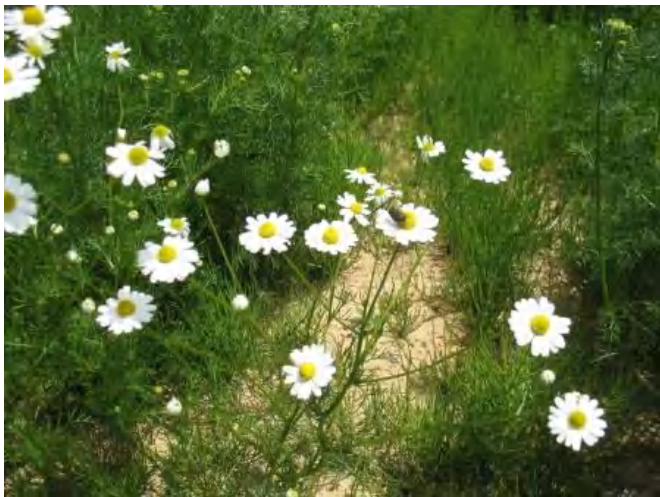


八寿恵荘の案内看板



今広津はアチコチの畑でカミツレの花が満開です。栽培していない家の庭などでも花を見かけます。6/3～5。10時～17時に 第23回 池田町広津カミツレ花祭りが開催されます。是非お出かけ下さい。「栽培者のお話会」「カミツレについてのお話会」「カミツレ商品の特別価格での販売」「蕎麦打ち体験」「運動教室」「摘み取り体験」などが計画されています。期間中は特別価格で八寿恵荘でのカミツレの湯入浴(200円)、宿泊(1泊2食付、5250円。税込)と格安です。又収穫のお手伝いさんも募集しています。(6/11～12)

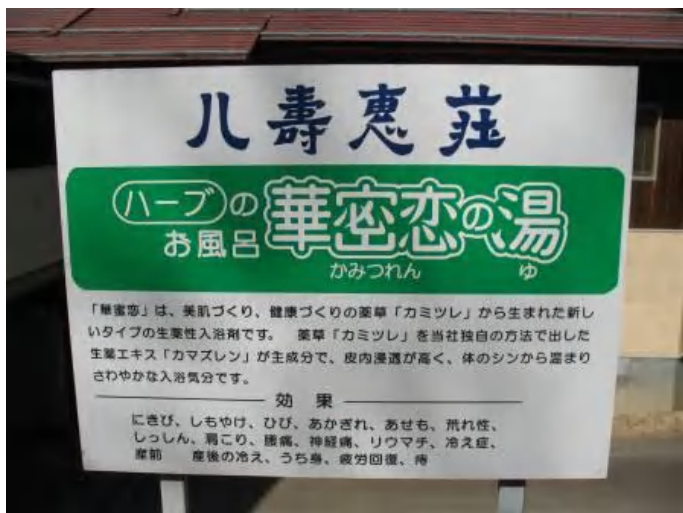
カミツレの花



栽培地の風景



八寿恵荘の看板



八寿恵荘



ご予約、お問い合わせは 0261-62-9119 まで。

カミツレ研究所で検索すると便利です。

(H.P) また商品は池田町の道の駅でも一年中購入できます。